



社会福祉法人
ひょうご聴覚障害者
福祉事業協会

一人ひとりを大切に(人権)
ともに生きる(共生)

<発行>

特別養護老人ホーム
淡路ふくろうの郷
広報委員会

〒 656-0002
洲本市中川原町中川原 28 番地 1
TEL : 0799-25-8550
FAX : 0799-25-8551



右のQRコードから
ホームページをご覧ください。



10月26(日)、第19回ふくろう
ふれ愛まつりが淡路ふくろうの郷
にて開催され、約300名の来場者で
賑わいました。まつり当日が雨予
報だったため、式典と舞台発表は
施設内で行われました。

駐車場にはキッチンカーが8
台出店し、皆さま好きな物を購入
し、楽しまれていきました。

舞台発表では、和太鼓演奏、フ
ラダンス、阿波踊りが披露されま
した。入居者の皆さまは力強い演
奏に強く感銘を受け、手や体を一
緒に動かして踊りを楽しんだり、



11月2日は十三夜の月。古代から続く三大月見の習慣が続いている。
(中秋の名月)を観て 11月29日の十日夜(とおかんや)の月を観る。三夜の月は満月で
はなく欠けた月だけれど、三夜の月を愛でると想いが叶う。芋名月、栗名月、豆名月と
も言われ、中国にも月見の習慣はあるけれど、古代から続く日本独自の文化だ。56年前、
アポロ11号が月に降り立ち月の石を持ち帰った。70年大阪万博や今年の関西大阪万博
で触った方がいるだろう。55年前の石の感触は、平和だからこそ味わえたこと。戦前の
方々は戦火の中で月を愛でたのだろうかと思う。

10月6日、十五夜
11月29日、十五夜
11月2日は十三夜の月。

ひょうご聴覚障害者福祉事業協会
Instagram

フォローお願いします



▶式典では、瑞宝双光章を受
章された平野俊和さまのお祝
いが行われました。



▶昼食は、焼きそば、たい焼
き、クレープ、コーヒーなど、
キッチンカーで好きな物を購
入♪



▶ 阿波踊りすだち連のみなさん
さんが、各居室まで練り歩いてくださいり大盛り上がり!!



皆さんは家族や友達に名前を呼ばれる度、自然にこれが自分の名前と分かる。聞こえない人たちには、耳から言葉が入らないため、 目で見て分かる事しか、分からない。音も声も見えないね？と問い合わせました。なるほど。と興味深くお話を聞いてくれました。

「みなさんは、なぜお友達や家族・先生とお話しできるのかな？」と問いかけから始めました。聞こえない人でもいろんな人がいる事を知つてほしい。生まれつき聞こえない人、事故や病気で聞こえなくなつた人。環境や聞こえなくなつた時期によつてコミュニケーションの方法も違つてくることを、知つてほしい。字を読んだり書けない人もいる事。自

安乎小学校の4年生に聞こえないことについて、話をしてきました。話すだけではなく、皆に考えた。頂きながらお話をしました。

安平小学校にて 福祉学習（手話）

福祉用具も実際に見て触つて
体験して頂きました。目覚まし時



(生活援助係) 伊達美紀

たら困ること。聞こえない人たちに、支援してほしい内容も伝えました。最後は、手話でのあいさつや一人ひとりに名前を教えました。問い合わせには、皆積極的に手を上げて答えてくださいました。色んな音を教えてくださいました。ありがとうございました。

なくて、「おい！開いとる」と怒られたり。雷では『おかんずるい！俺うるさくて眠れない』など・・笑いもあり。災害が起二つ

失敗談も話しました。晴れてい
たのに、突然雨が降つてきても音
が分からなくて、息子に「おい
い！ 雨！ 洗濯物！」と言われた
り、冷蔵庫がきらりと開まつてい

職員研修

『職業倫理と権利擁護』

10月28日(火)、職員全体会

議にて、職業倫理と権利擁護についての研修がありまし

た。まず初めに「ワークエンジメント」という言葉を知っていますか、と質問がありました。「ワークエンジメント」とは、仕事への意欲を持ち、満足している状態のことです、仕事に対して、活力・没頭・熱意の三つの要素が満たされている状態を指します。働く人のパフォーマンスや健康に大きく影響する要因で、ワークエンジメントが低下すると仕事への興味や関心、自信を失い「バーンアウト(燃え尽き症候群)」の状態に陥ってしまうため注意が必要です。

また、「社会福祉とは?」との問い合わせに、普段から聞く言葉でも言葉に出して説明することの難しさを感じました。

その他にも「その人らしい生活」のらしいとは?との問いかけに「大切にしてきたことを大切にする」「思いをくみとる」「その人の人生を積み重ねる」との声が聞かれました。

最後に講師から「あせらない・あわてない・あきらめない」の3つの「あ」を大切に共に歩みを進めましょう、とお話をありました。

今回の研修で学んだことを日々の業務に活かしていきたいと思います。

令和7年度 福祉従事者中堅職員研修 (職業倫理と権利擁護) 伝達研修

11月ふくろうの暮らし

11/4(火)演劇講座

11/5(水)誕生日会

11/8(土)回想法

11/10(月)ふくろう理髪店

11/12(水)手話講座

11/15(土)書道講座

11/18(火)絵手紙講座

11/19(水)中川原小町探険

11/22(土)ちぎり絵

11/29(水)ふくろう喫茶

3つの「あ」を唱えながら、 共に歩みを進めましょう。

- ①「あ」 あせらない
- ②「あ」 あわてない
- ③「あ」 あきらめない



ニッセイ財団助成事業 第3回運営委員会

(9月8日・洲本市健康福祉館)

2年間のニッセイ財団助成事業、最後の運営委員会が開催されました。相談会やリハビリテーション講座の報告後、完成したきこえの健康手帳を見ていただき、活用方法や配布方法、配布後のフォロー体制等について意見交換をしました。

この2年間の活動中に、島内3市では補聴器購入助成制度が開始され、洲本市では独自のきこえのフレイル事業も開始し、きこえに関する取り組みが広がつてきました。また、全国的に難聴高齢者への支援が始まっていることから、今回の事業で行った「きこえのなんでも相談会」「きこえのリハビリテーション講座」「きこえの健康手帳の作成」の実践を広く紹介し、全国的なきこえの健康支援体制の構築に貢献できたらと、話しました。これで終わりではなく始まりであり、今後もきこえのフレイルについて啓発・促進への協力を継続していくことを確認し、最後の運営委員会を閉会しました。助成をしていただいたニッセイ財団様、ご協力いただいた運営委員をはじめとする多くの皆様、参加していただいた皆様(聴力測定76名講座 141名、2年間本当にありがとうございました。難聴事業担当 高木)





★作業 新聞紙で兜やかざ車を作りました。



★書道講座 紅葉、十五夜、さつまいも、柿、栗などを書きました。



★中川原小学校運動会見学 顔なじみの方と再会したり、子ども達のかわいい姿に元気をもらいました。



★手話講座

秋の味覚(新米、太刀魚、梨など)を手話で表現したり、体を動かして楽しみました。



淡路聴覚障害者

センター便り

研修特集!!

医療現場の手話通訳

「現場経験から
伝えたいこと」



洲本市港2-26
洲本市健康福祉館3階

10月5日(日)登録手話通訳者研修会

訳者研修会を行いました。今回は長年看護師の仕事をしながら病院での手話通訳も担つてこられた、江木洋子氏に講師をお願いしました。

体験談の中であるほど思つたのが、入院中の話で、①ナースコールはインターネットになつていて押すと「どうされました?」と返答があることをろう者に伝える。看護師には応答しても返答できないことを知つてもらい部屋に行つてもうようする。②病

手話通訳者のあり方

ロールプレイで学ぶ

10月19日「手話通訳のあ

り方」について、兵聴協講

保障をし、ろう者が自己決

定できる支援が大事という

ことを場面を細かく区切つ

て確認していきました。

「とてもわかりやすくお話ししていただき、具体的でよく理解できました。」「専門的な医学用語は覚えられ

ないが、内臓の位置や大きさなど、正確な情報を伝え

るために覚える必要があ

ると思いました。」等の感想がありました。(酒井)

棟内の仕切りカーテンが突然開いて入院中のろう者は驚く。看護師や医師は開けこえない。開ける前に手を

うようにすると伝わる。な

ど、入院中の生活を快適に

過ごすための工夫を知るこ

とができるとても参考にな

りました。次回入院の通訳に行つた時は、その辺りまで確認できるよう心がけたいと思いました。

通訳現場は個人で行動す

ることがほとんどで、通訳

者も「言つたことすべて通訳できた」と思い込んで終

2時間でした。

通訳現場は個人で行動す

ることがほとんどで、通訳

者も「言つたことすべて通訳できた」と思い込んで終

2時間でした。

通訳現場は個人で行動す

ることがほとんどで、通訳

者も「言つたことすべて通訳できた」と思い込んで終

2時間でした。

通訳現場は個人で行動す

ことがほとんどで、通訳

者も「言つたことすべて通訳できた」と思い



中川原 地域ふれあい便り

発行団体: 中川原高齢者・障がい者地域ふれあいセンター運営委員会
住所: 〒656-0002 洲本市中川原町中川原 222-2

TEL: 0799-28-0990 又は 28-0991 FAX: 0799-28-0992



♪ 音楽の秋 ♪

♪ 安永郁子さんにお越しいただき、
ミニコンサートを開きました。
ティサービスの皆さん、地域の方々と
季節の歌や童謡と一緒に歌って楽しい
ひとときを過ごしました ♪



🍁 体を動かそうの秋 🍁

🍁 今年も桜ヶ丘ミニ運動会を開催しました。
選手宣誓に続いて、ドーナツ食い競争、
ピンポン玉送り競争、新聞手ぐり寄せなど、
みんなで体を動かして楽しみました

ティサービス桜ヶ丘へ来られませんか？

	月	火	水	木	金
ご利用いただける曜日	×	○	○	○	○
入浴いただける曜日	×	○	○	○	○

お問合せは 0799-28-0993 吉川まで

「雨にも負けず、
笑顔あふれるふれ愛祭り」



10月12日(日)、「ふれ愛まつり2025」が洲本市総合福祉会館にて、26日(日)、「第19回ふくろうふれ愛まつり」が淡路ふくろうの郷にて行われました。両日とも天候ではありますが、多くのお客様にご来場いただきました。

ふくろうふれ愛まつりではパンの販売も行いました。販売ブースの前には大勢の方がいらっしゃいました。準備したパン・焼菓子ともにほぼ完売となり、大変ご好評をいただきました。

（おのころ屋職員 山田）



洲本市のふれあいまつりでは、一時雨脚が強まる時間帯もありましたが、お客様は傘を差しながら焼菓子を選ばれ、中にはかごいっぱい購入される方もいらっしゃいました。

レク活動「鍋敷き作り」



10月27日(月)のレク活動は「鍋敷き」を作りました。使用するのは木玉ビーズと針金です。先生が作り方の図を用意してくださり、その図を見ながら、ビーズに針金を通して編み込み、最後に針金の処理をして完成させました。



完成した鍋敷きは、木のぬくもりと手作りならではの風合いが感じられる、味わい深い作品となりました。

（おのころの家職員 東田）

「おのころの家」ご利用募集

- 対象者:就労継続支援B型を希望される方
- 活動内容
 - ・焼き菓子・菓子パンの製造販売
 - ・塩のゴミ取り、パック詰め作業
 - ・地域委託業務(トイレ清掃など)



- 営業日:月・火・水・木・金（休業日:土日）
 - サービス:食事提供・送迎有(淡路島全域対応)
 - ☆お問い合わせ:
- ☎:0799-28-0995 FAX:0799-28-0992
ご興味のある方は、お気軽にご連絡ください。

して使うのはもったいないから飾つておこうかな」「私はコースターにしようかな」といった声も聞かれ、作品への満足感と達成感があふれた笑顔が印象的でした。

一人ひとりの手から生まれた小さな作品が、心に残る大きな喜びとなつた一日。ものづくりの楽しさと、仲間と過ごす時間の尊さを改めて感じる、感動のレクリエーションとなりました。

〒653-0836
FAX: 電話 ..
0 0
7 7
8 8
7 7
9 9
8 8
7 7
9 9
4 4
1 0

神戸長田からくりの杜

10月 神戸長田は 秋のイベント

満載です !!

暑い夏がようやく終わり、月、秋の到来です。杜の地域では毎週のように日曜日に大きなイベントがありました。第1週目、10月5日は「防災フェスティバル」が地域の小学校でありました。地震を体験できる「ゆれるん」や警察の特殊車両など、阪神淡路大震災から30年、地震で焼失した地域なので大がかりな防災の行事が行われました。

翌週の10月12日は「新長田地区ふれあいまつり」が地域の水笠通公園で開かれました。ふくろうの杜からは、本部のお手伝い、ほつとかへんネットのブースのお手伝い、細田神楽地域のブースのお手伝いにそれぞれ職員が参加しました。杜主体としてはB型事業と生活介護がチーズケーキと飲み物、手作り品を、職員、なかもで販売しました。



B型、生活介護のベースです

した。本部を含む29のブースと6台のキッチンカーが会場狭しと設置され、その間を縫うように人、人、人が行列を作ります。B型、生活介護のブースは早々と完売、まちづくりの「焼きさんま」も昼過ぎには完売しました。地域のサークルが手話通訳を担当する舞台では地域の子供や大人たちがダンスや楽器演奏に興じ、最後は男子の力自慢と女子の腕相撲大会がありました。あつという間に5時間がすぎました。終わり近くに雨が降り始めましたが、会場全体がそんなことにはお構いなく最後まで盛り上がり楽しみました。

「ふれあいフエスタ
「秋まつり2025」に参加

ふれあいフェスティバル「秋まつり」では三ツ星ベルトという会社の広い駐車場で行われました。神戸市消防局音楽隊の華やかな演奏で始まり、保育園などの子供たちのステージ、スチールパンの演奏で盛り上がっていました。また、警察や消防の緊急車両の展示や地域のまちづくり協議会や婦人会などの団体、近くのお店の模擬店がたくさん並び、たくさんの参加者で賑わっていました。

保育等の福祉施設を運営する社
会福祉法人の連絡協議会である
「ほつとかへんネット長田」の一
員として杜の職員2名で、コイン
落とし、高齢者体験わなげ、福祉
相談の模擬店を手伝いました。
11時から14時と限られた時間
でしたが、コイン落としでは30
0名以上の子どもたちが来てく
れました。12時30分ごろからは
絵本の読み聞かせがあり、小さな

子供たちが「はらべこあおむし」などを楽しんでいました。高齢者体験わなげでは、手足の重り、白内障などの見え方を体験できるゴーグルを着用して輪投げを行いました。

こうした行事に参加することで福祉施設のことや困ったときに頼れる場所があるということを知つてもらういい機会です。いろいろな分野の施設が集まり地域の課題に取り組んでいくことは大切なことです。その中で聞こえない、聞こえにくい人のことも知つてもらい一緒に考えてもらえるように取り組んでいく必要がります。

今回は手話通訳の配置はありませんでした。今後、聞こえない人も参加をしてもらうためにも手話通訳を配置してもらえるように交渉しないといけないと考えています。